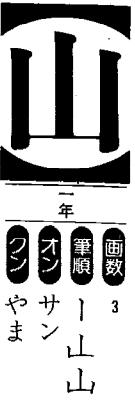




成り立ち



“みつづ”的ぼうで、“みつづ”といふいみをあらわした字です。ローマ字の“III”もそうです。アラビア数字もそうですが、三つのぼうをつないので“II”が“II”になりました。



成り立ち



“やま”的かたちをあらわした字で、“やま”といふいみをあらわしたもので。

また、“やま”的ように「たかくみかさなつているもの」のことにもつかいます。

〔泰山は小さきつちくれを譲らず〕「泰山北斗」とか、「山中の賊を破るは易く、心中の賊を破るは難し」など、「山」にかかる古言は多い。

サンは漢音で、吳音はセンである。吳音は「須弥山」スミヤマ、「金剛山」キンゴウヤマ、「大山」ダイサンなどの固有名詞にわずかに使われているだけである。〕

△「二角」とは、「角」が二つあるもの」といういみのことばです。

熟語例

△二日月（二日めのほそい月）

△三国一（日本、中国、インド「三つの国の中の一ぱん」ということで、世界一のむかしのいいかたです。例三国一のはなよめ）

△仮の顔も三度。△三度目の正直。△三つの魂百まで。

使い方

△二角

△三

△三

△三

△山につまずかず、石につまずく（しつばいはちいさなことをあなどることからおこる」といういみ）

△山につまずかず、石につまずく（しつばいはちいさなことをあなどることからおこる」といういみ）